

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1083	(H.24)No.	1083
-----------	------	-----------	------

事務事業名	環境衛生費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
生活環境部	環境対策室	藤野 泰司	63-7492
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	1	良好な地域環境づくり
	施策	1	環境保全
	小施策	3	環境美化の推進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	252501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	環境衛生費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	環境衛生費	環境衛生費

3. 事務事業の概要

事業概要	
・狂犬病予防事業 (予防注射、犬の登録管理、飼い主のモラル向上のための啓発)など	
・感染症予防にかかる消毒、へい獣の処理	

めざす効果(事業目的)
・感染症予防に係る消毒、へい獣の処理等により清潔で安全な公衆衛生を図る。 ・狂犬病予防法に基づき狂犬病の発生予防や犬を原因とする危害防止を図るため、県と連携して狂犬病予防思想の普及に努める。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	委託料(狂犬病予防注射委託料等) 3,298千円 等 ・犬の登録 351頭 ・狂犬病予防注射 3,946頭 ・へい獣処理 98件 ・迷い犬一時保護 14頭 ・蜂の防護服貸出 50件 ・アライグマ等外来生物駆除への取組み	委託料(狂犬病予防注射委託料等) 3,903千円 等 ・犬の登録 400頭 ・狂犬病予防注射 3,400頭 ・へい獣処理 120件 ・迷い犬一時保護 34頭 ・蜂の防護服貸出 43件 ・アライグマ等外来生物駆除への取組み	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	3,870千円	4,694千円	5,485	5,485	5,485
財源内訳(千円)					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()	3,870	4,694	5,485	5,485	5,485
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数					
職員	0.71人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
臨時職員等	0.30人	0.35人	0.35人	0.35人	0.35人
概算人件費	(0千円) 5,693千円	7,895千円	7,895千円	7,895千円	7,895千円
+ 総事業費	(0千円) 9,563千円	12,589千円	13,380千円	13,380千円	13,380千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	環境保全活動に参加したことがある市民の割合	%	—	—	—	—	74.0
	実績			70.5	64.7	65.7	63.2	
活動指標	目標	狂犬病予防注射接種率	%					80.0
	実績			68.88	72.04	72.57	68.76	
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
・市民、事業所、ボランティア組織との協働での環境保全活動が実施されてきた。 ・狂犬病予防接種率の低下	・尚一層の参画を促進する。 ・啓発等により、狂犬病予防接種の接種率の向上を図る

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・狂犬病予防接種率の向上が必要。 ・飼い主不明の迷い犬の根絶が必要	予防接種及び犬鑑札・注射済票の啓発

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	市民団体との協働で事業を行う。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	事業の啓発を他の事業(イベント等)と積極的に連携していく
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	ペットの糞公害のないペットを愛するまちづくり
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映済み	環境保全
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を行うことができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	市民団体との協働で事業を行う。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項